2026年10月10日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
8,813万kW
12時、88,133 MW（10エリア同時刻合計）

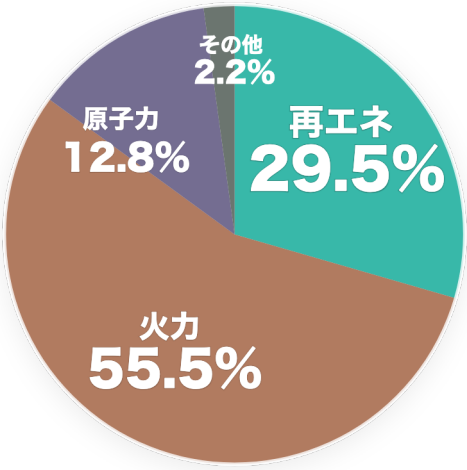
☀ 太陽光ピーク
4,886万kW
11時、48,864 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
63万kW
1時30分、627 MW

◇ 再エネ最大需要比
65.7%
10時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
82.2 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
69.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

中部 38.9%

97.8 GWh

出力抑制量

7.3 GWh

最大: 東北 5.0 GWh

揚水・蓄電の充電

62.5 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、11:30に2,828万kWでした。
- 再エネ比率は中部が最も高く、発電電力量ベースで38.9%でした。
- 出力抑制は北海道、東北、中国、四国。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**29.5%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**576 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,952 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**65.7%**	10時30分
出力抑制量	**7.3 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**62.5 GWh**	発電構成比には含めない

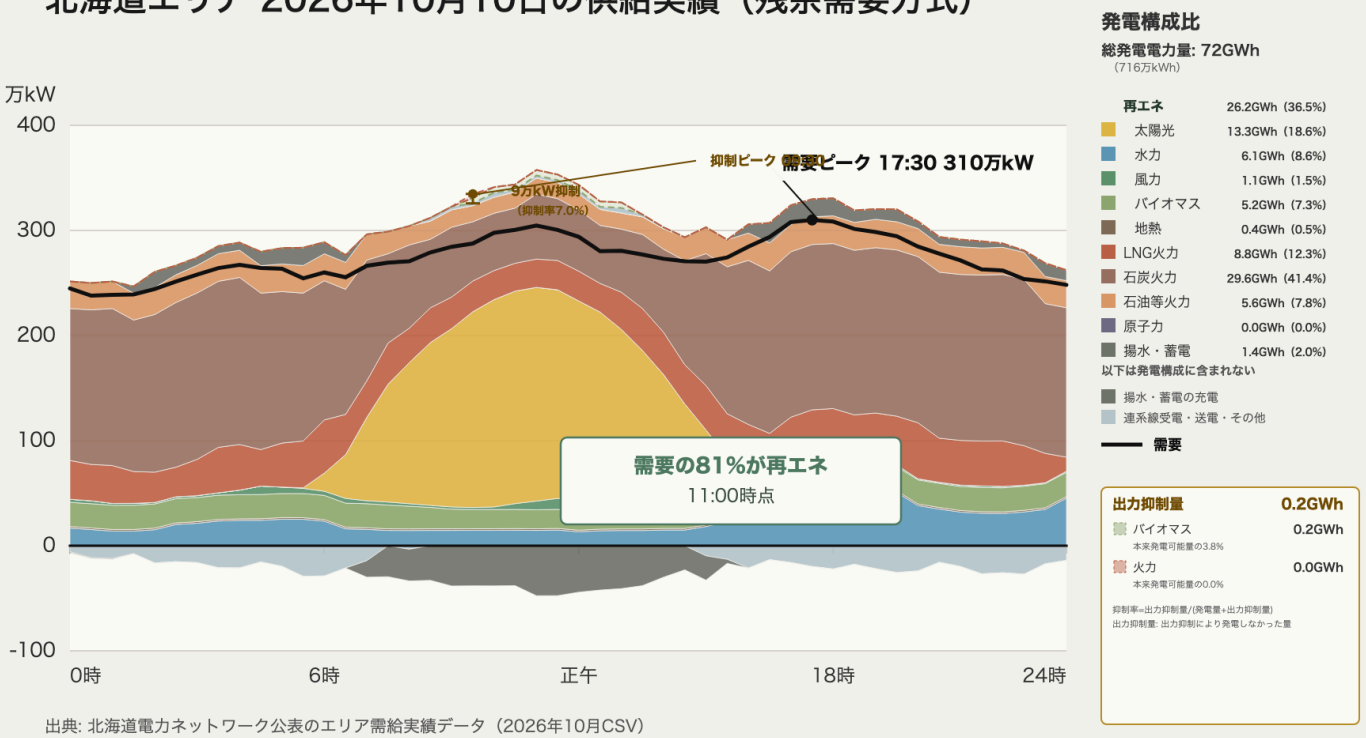
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**36.5%**	**26.2**	**0.2**	**送電 2.9**
東北	**37.4%**	**92.1**	**5.0**	**送電 69.6**
東京	**25.1%**	**137**	**0.0**	**受電 82.2**
中部	**38.9%**	**97.8**	**0.0**	**受電 40.5**
北陸	**32.1%**	**21.6**	**0.0**	**送電 9.7**
関西	**25.3%**	**67.7**	**0.0**	**受電 49.3**
中国	**25.1%**	**43.5**	**0.8**	**送電 33.4**
四国	**29.0%**	**25.9**	**1.3**	**送電 32.8**
九州	**28.5%**	**60.7**	**0.0**	**送電 5.6**
沖縄	**11.4%**	**2.9**	**0.0**	—

2026年10月10日の供給実績

北海道エリア

再エネ
26.1GWh
（発電電力量ベース36.5%）

北海道エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
71.6GWh

需要ピーク
17:30、310万kW

連系線・その他
3.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.0GWh

出力抑制
0.2GWh

概況

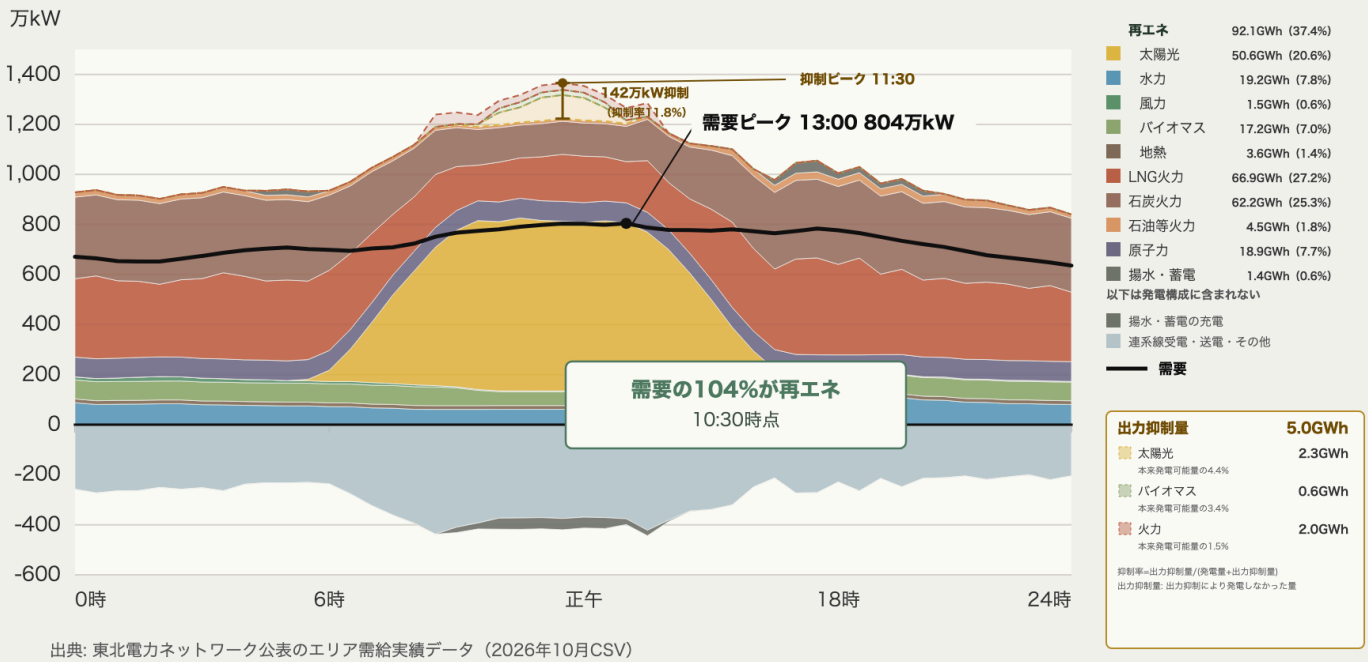
北海道は、太陽光ピーク203万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.0%だった。

2026年10月10日の供給実績

東北エリア

再エネ
92.1GWh
（発電電力量ベース37.4%）

東北エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
246.2GWh

需要ピーク
13:00、804万kW

連系線・その他
69.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.8GWh

出力抑制
5.0GWh

概況

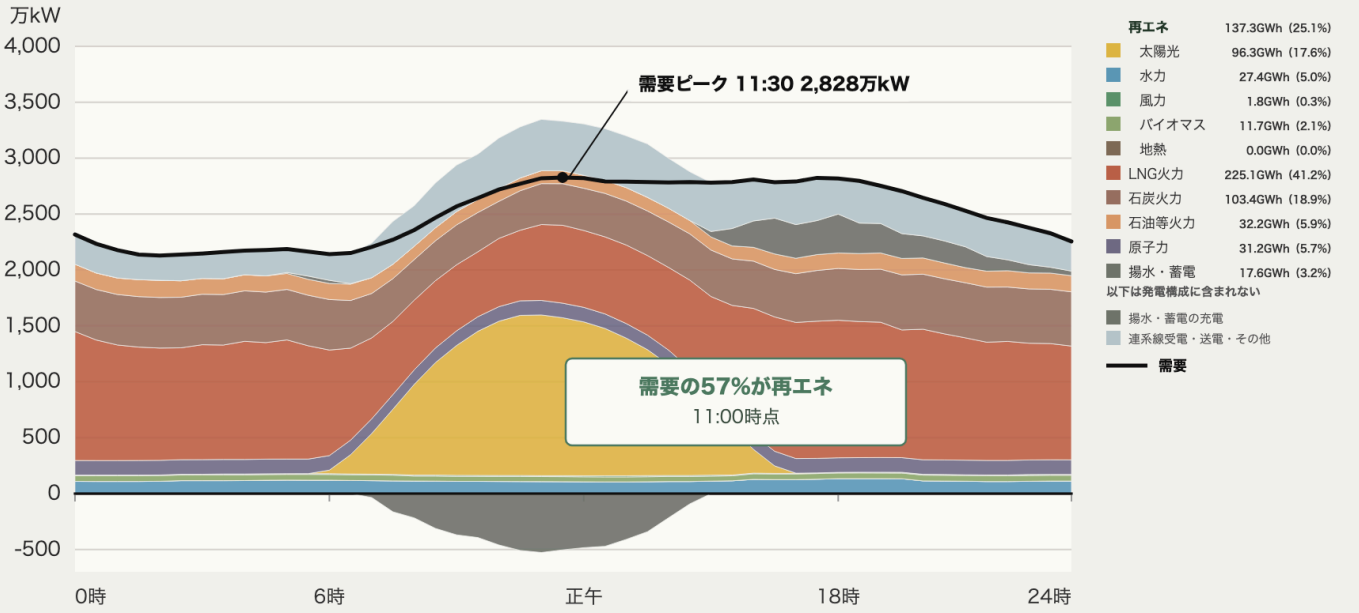
東北は、太陽光ピーク691万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は105.3%だった。

2026年10月10日の供給実績

東京エリア

再エネ
137.3GWh
（発電電力量ベース25.1%）

東京エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
546.9GWh

需要ピーク
11:30、2,828万kW

連系線・その他
82.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
27.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

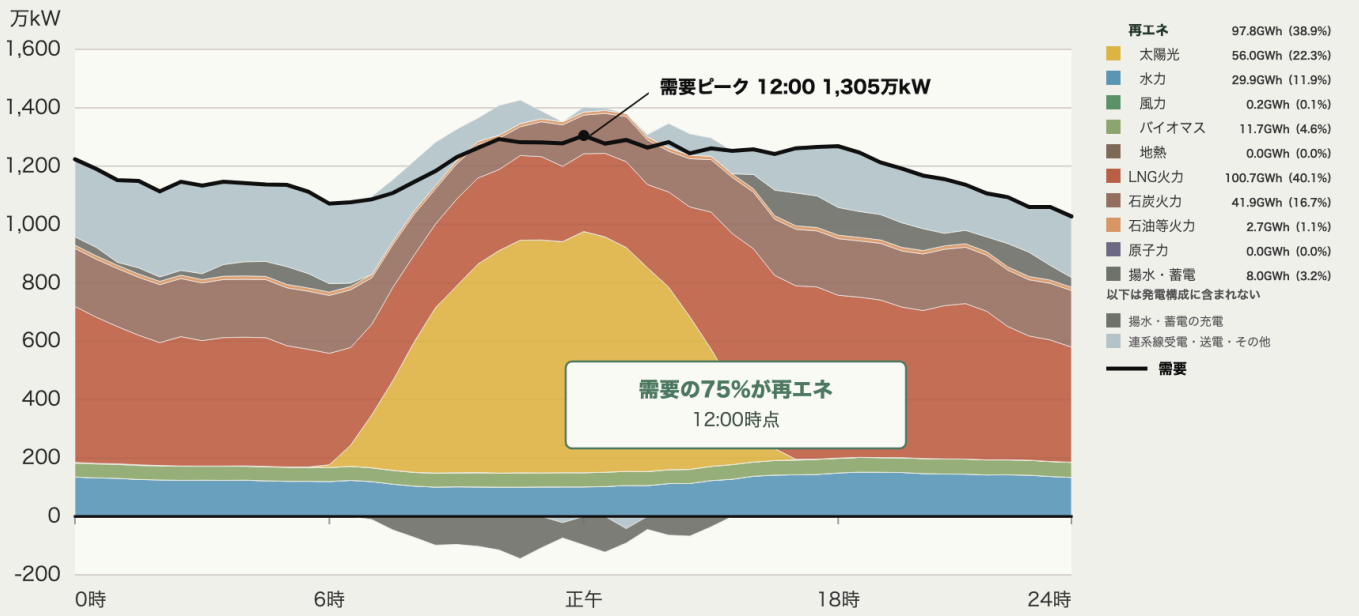
東京は、太陽光ピーク1,437万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.5%だった。

2026年10月10日の供給実績

中部エリア

再エネ
97.8GWh
（発電電力量ベース38.9%）

中部エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
251.1GWh

需要ピーク
12:00、1,305万kW

連系線・その他
40.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
6.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

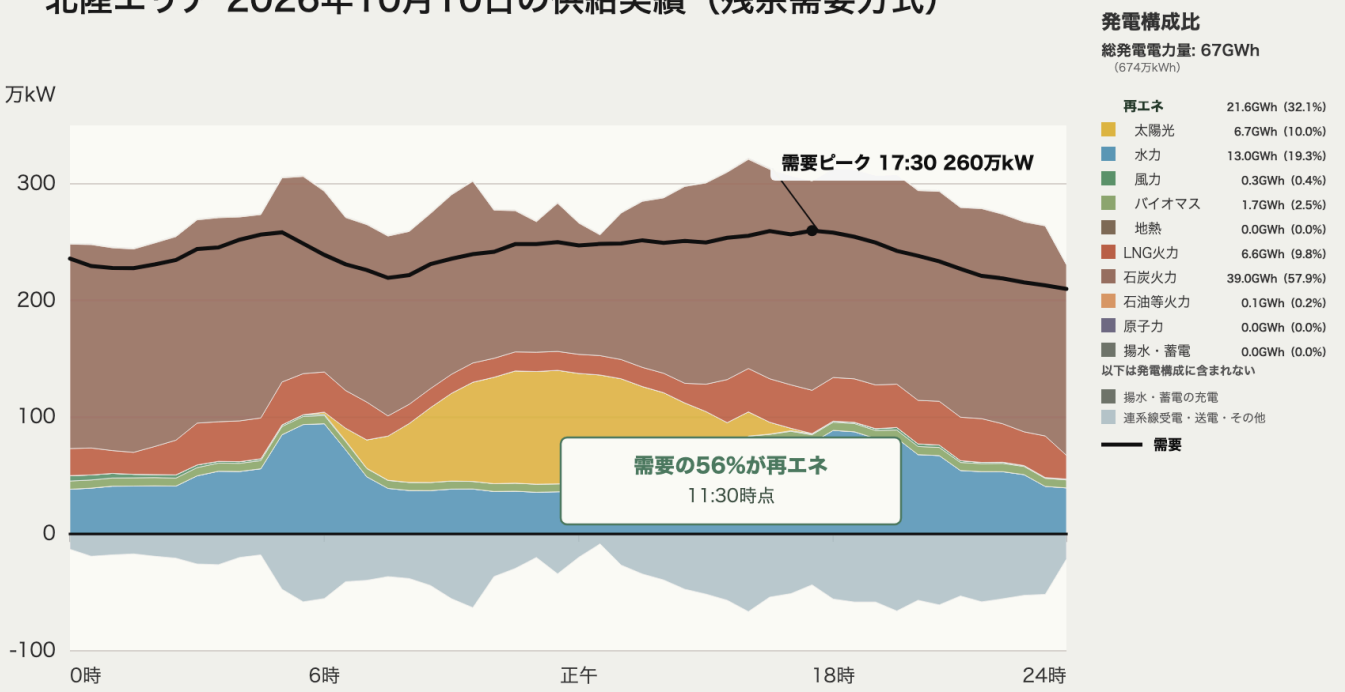
中部は、太陽光ピーク826万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は75.0%だった。

2026年10月10日の供給実績

北陸エリア

再エネ
21.6GWh
（発電電力量ベース32.1%）

北陸エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
67.4GWh

需要ピーク
17:30、260万kW

連系線・その他
9.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

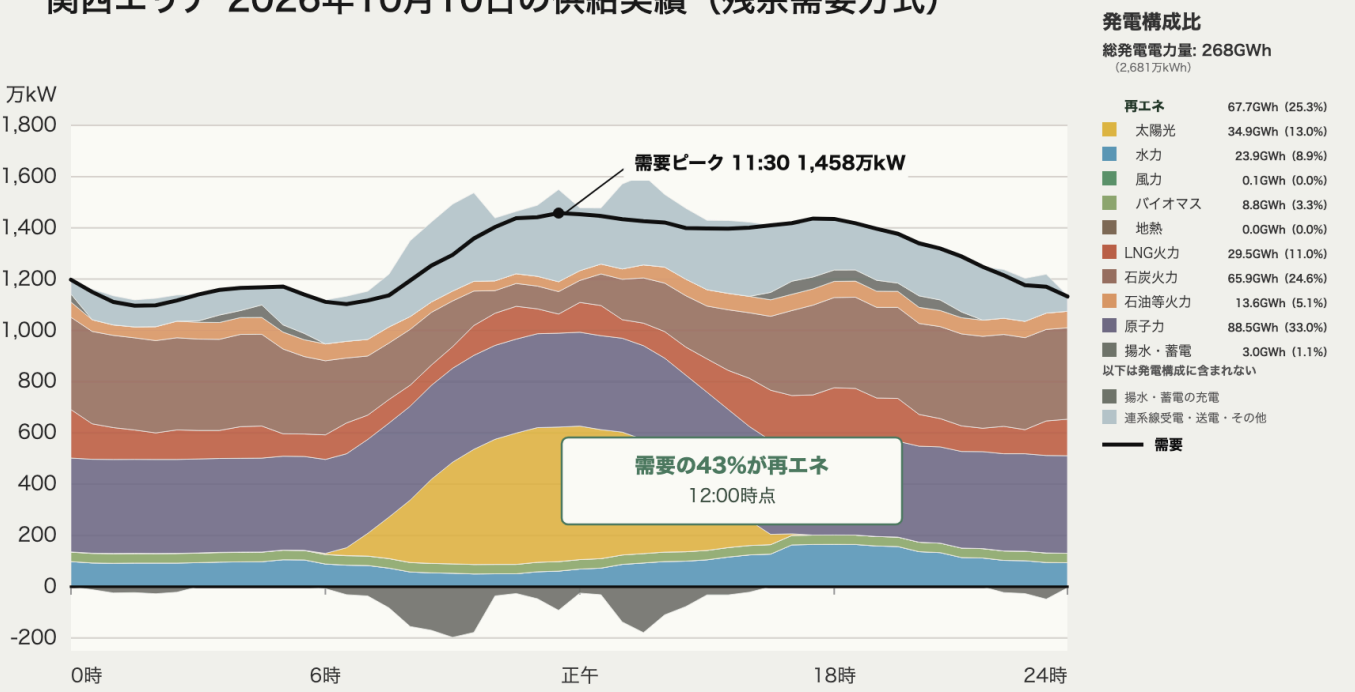
北陸は、太陽光ピーク97万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.3%だった。

2026年10月10日の供給実績

関西エリア

再エネ
67.7GWh
（発電電力量ベース25.3%）

関西エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
268.1GWh

需要ピーク
11:30、1,458万kW

連系線・その他
49.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電
9.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

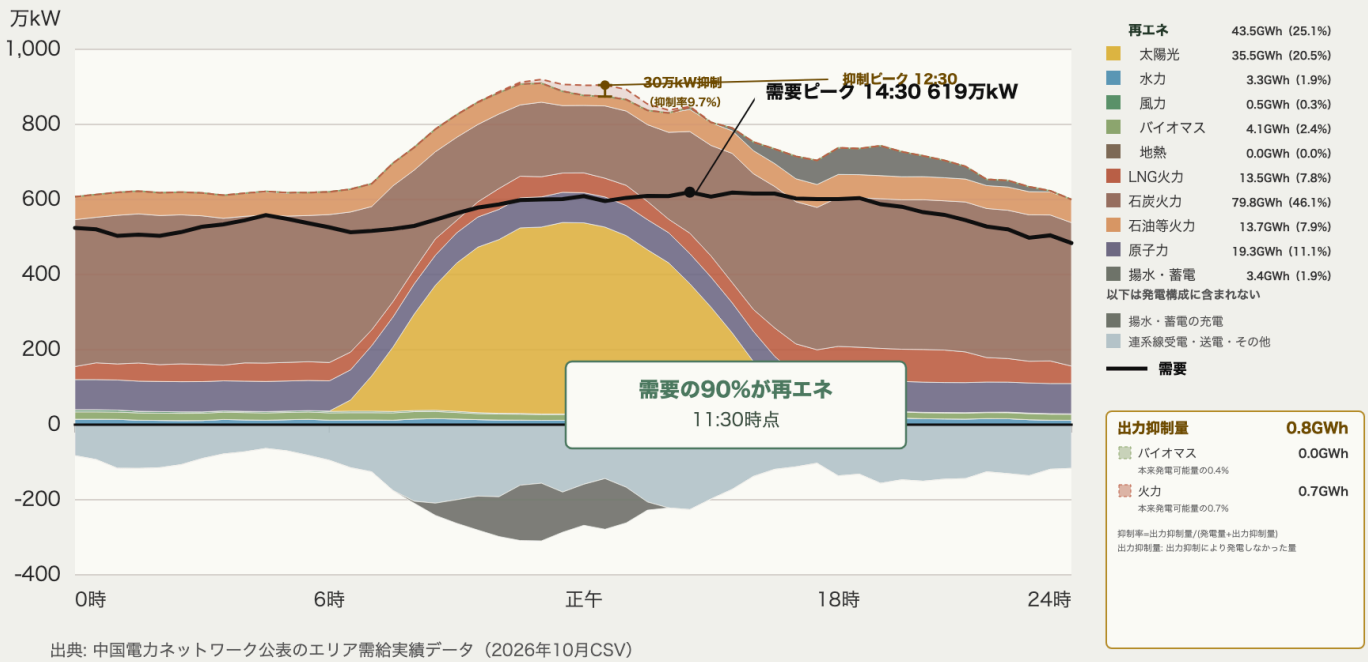
関西は、太陽光ピーク525万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.1%だった。

2026年10月10日の供給実績

中国エリア

再エネ
43.5GWh
（発電電力量ベース25.1%）

中国エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
173.2GWh

需要ピーク
14:30、619万kW

連系線・その他
33.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
5.3GWh

出力抑制
0.8GWh

概況

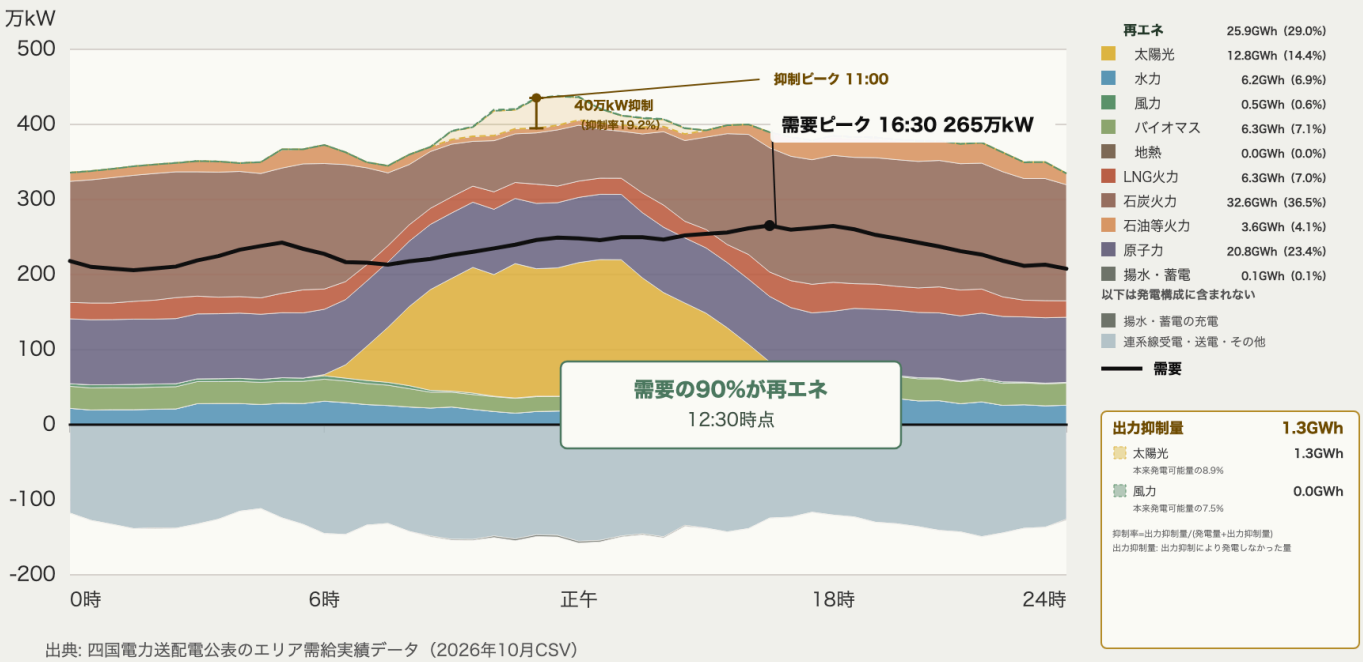
中国は、太陽光ピーク510万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は89.6%だった。

2026年10月10日の供給実績

四国エリア

再エネ
25.9GWh
（発電電力量ベース29.0%）

四国エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
89.2GWh

需要ピーク
16:30、265万kW

連系線・その他
32.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
1.3GWh

概況

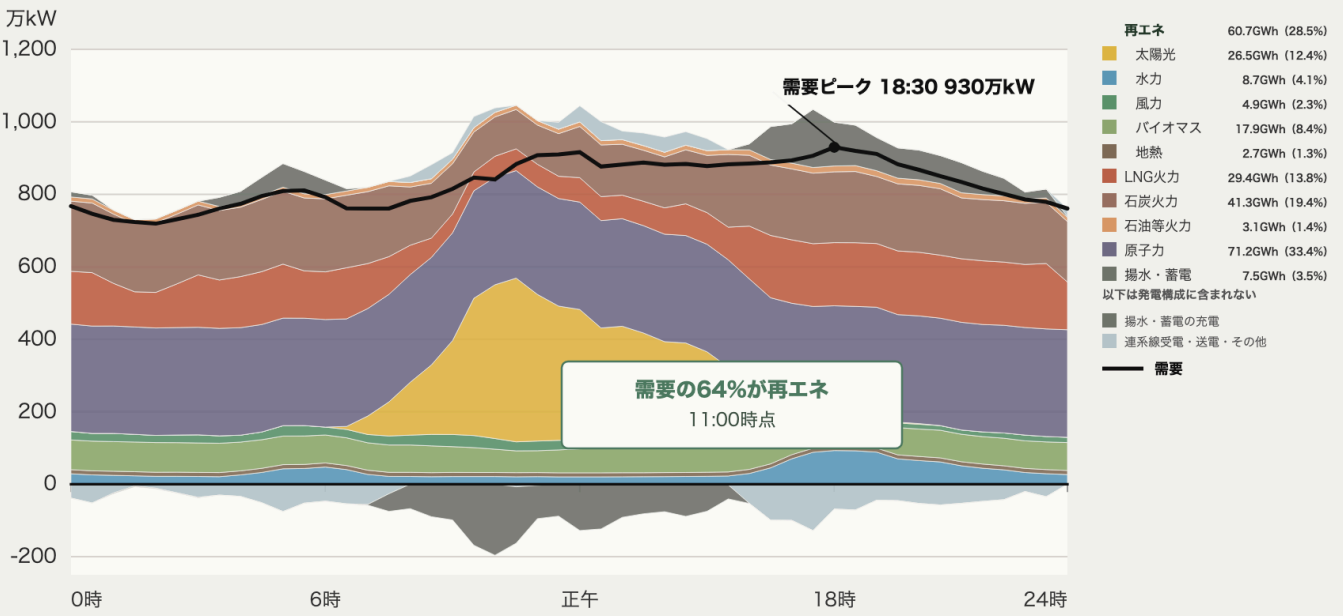
四国は、太陽光ピーク184万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は91.1%だった。

2026年10月10日の供給実績

九州エリア

再エネ
60.7GWh
（発電電力量ベース28.5%）

九州エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
213.1GWh

需要ピーク
18:30、930万kW

連系線・その他
7.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

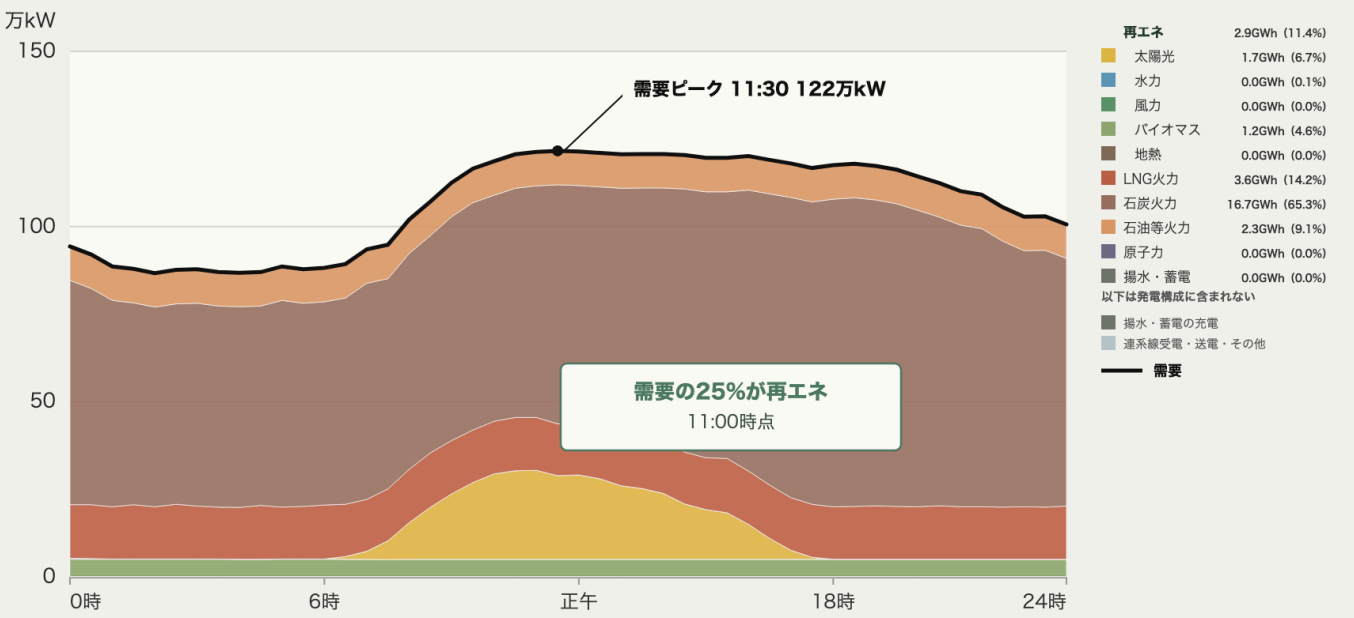
九州は、太陽光ピーク452万kW、風力ピーク34万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.4%だった。

2026年10月10日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.9GWh
（発電電力量ベース11.4%）

沖縄エリア 2026年10月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
25.6GWh

需要ピーク
11:30、122万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク25万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.1%だった。